

数字で振り返る岩見沢

262.0 1,112 94,802
5,292 ? 99.2
38,243 5,345



私たちの日常生活は、気象など身近な自然現象のほか、通学や通勤時の交通、食料品などの買い物、ごみ処理、病院や学校、住まいの快適さなど、さまざまな社会現象と関わっています。こうしたさまざまな現象を正しく理解するため、今月から岩見沢に関する統計数字を過去に遡って紹介していきます。

第1回 地域の温暖化

問合先 庶務課市史資料室（北村支所内） ☎ 56-2001

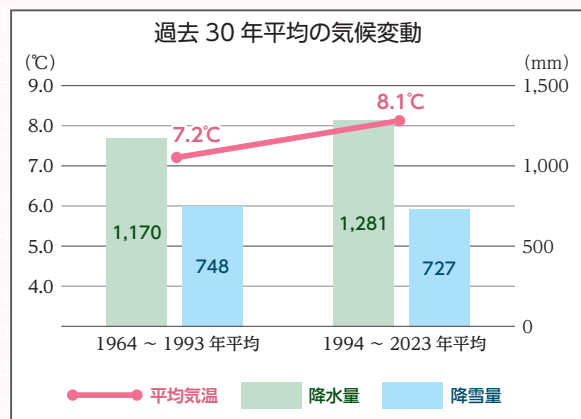
今月の数字 平年気温 0.9 度上昇

昭和21年10月、食糧増産に役立てるため岩見沢産業気象研究所が設置され、昭和25年6月に岩見沢測候所が気象観測を引き継ぎました。昭和40年代には年間11メートルの降雪を記録した岩見沢市でも、地球温暖化は着実に進んでいます。その原因は、温室効果ガスだといわれており、直近30年の年平均気温は8.1度と、その前の30年平均の7.2度に比べ0.9度上昇しています。同様に直近30年の年平均降水量は1,281ミリメートル、その前の30年平均1,170ミリメートルから111ミリメートル増加していますが、降雪量はわずかに21センチメートル減少しています。

JA いわみざわの広報紙「農業に懸ける情熱」に登場する若手農業者の多くが、天候への対応力を課題としています。また、生産性の向上や農作業の効率化のため水田の直播栽培が普及し、それに伴い使わなくなった育苗ハウスが、寒冷地では難しかった落花生栽培などに活用されています。



最初の岩見沢測候所（5東13）



札幌管区気象台は、令和4年3月に「空知地方の気候変動」を公表し、関係者に温室効果ガスの排出削減などに追加的な対策を取るよう注意喚起しています。市も令和5年に策定した地球温暖化防止実行計画を基に、市民や事業者が脱炭素に取り組むとともに、既存の電力系統に依存しない自立型ナノグリッドの活用などエネルギーの地産地消を目指しています。

融雪が進み、今年も予想されている夏季の高温や豪雨に備え、私たち一人一人が環境に関心をもち、さまざまな対策を考えておく必要があります。

人の動き（令和6年2月29日現在）

●住民基本台帳 人口 男 35,156 人（前月比－60）
女 40,124 人（前月比－73）
総数 75,280 人（前月比－133）
世帯数 40,646 世帯（前月比－50）

岩見沢市役所

☎ 068-8686 北海道岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号
☎ 0126-23-4111（代表）FAX 0126-23-9977
ホームページ

<https://www.city.iwamizawa.hokkaido.jp>



X (旧 Twitter)



Facebook



Instagram



LINE

発行・編集 岩見沢市総務部秘書課広報係

広報クイズ

プレゼント

正解者の中から抽選で10人に図書カード500円分をプレゼント

問題

市は□□□未来課を設置し、日本でいちばん子育てにやさしいまち、に向けた取り組みをさらに進めていきます。
□に当てはまる言葉をお答えください。

締め切り 4月22日(月)（必着）

応募方法

はがき（送付先左記）、市ホームページのフォーム、ファックス（0126-23-7731）、Eメール（pr@city.iwamizawa.lg.jp）で、●クイズの答え●住所●氏名●年齢●電話番号●広報紙に関するご意見・ご要望を必ず記入し、総務部秘書課広報係へ。当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。3月号の正解は六でした。

